

4 月度 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">例会</span> 山行報告書		報告者	岩崎芳彦	参加 メンバー	岩崎芳彦 T氏、A氏(部外) 計3名
		報告日	H26.4.09		
山城		山行日	平成26年4月8日(火)		
山名	風頭山～本宮山縦走				

山行目的	春の里山歩きを楽しむ	コースタイム (天候: 天気図記号)	
------	------------	--------------------	--

配布先	ルート図 (地図を見て正確に)		4月8日(火) 天気晴れ 登山口 9:00-9:15 林道出合 9:45-50 風頭山頂上 10:35-52 大日山頂上 11:30-12:00 P-662 12:18-22 P-630 12:50-55 P-655 13:50-14:00 電波塔 14:30 本宮山頂上 14:58-15:05 登山口 15:40
総会参加数			
山行: 1			
原紙: 会事務局			
1/2.5 万地形図: 三河宮崎、高里、新城			

〈山行報告〉 本宮山は3日前に例会で行ったとこでまだ少し筋肉痛があったが、ようやく天気も良くなったので仲間を誘い、3人で額田の山の風頭山から本宮山までの縦走をしてきた。風頭山は初めてで、調べたら本宮山まで縦走ができることが分かったのでこれに挑戦した。登山口は本宿からくらがり街道を東に行き宮崎小学校の信号を右折すぐに橋を渡って次を右折すると左手に茶畑がある。この茶畑の向こう側に回り込んだ所にある。

登山開始前にT氏の車を本宮山山頂下の駐車場に止めて来てから登山口へ戻りスタートした。しばらくは沢を左に林道に行く。道は倒木や岩屑、杉の枝葉などが散乱していた。やがて登山道となり小鳥の声(オオルリ)を聞く。ほとんど登りばかりの道は不明瞭なところもあったが目印のテープを見つけては安心する。30分で林道石原河原線に出る。急登で出た汗を拭く。風頭山直下はきつい登りで息が切れるが、気がつくとも頂上であった。

山頂は視界きかず、南に下がったところに素晴らしい展望地があった。これから行く本宮山や縦走路を見た。展望を楽しんで大日山へ向う。稜線歩きだが視界はきかない。小さなピークを3~4つ越えて大日山到着。はっきりした山頂表示はない。白いテープにペンで書いた「大日山」が唯一。ここで昼食を済ませ次のピーク 662

m  
(P-662)を目指す。時々道は消えるも稜線を外さないように進むと P-662 に着く。ここも表示は無く、高度計でそれと確認する。次の P-630 へは急な下りで慎重に下りる。辺りははあせびの群生だが花はまだであった。P-630 を過ぎ、次の P-655 までは長く、幾つもの小ピークを越えて最も高いと思われるピークに着く。ここが P-655 と判断する。ピークはここ



風頭山から本宮山への道  
奥の山並み中央右が本宮山、手前の尾根中央やや左のピークは P-630

〈リーダー所見〉 本宮山は表参道が一般的で登山者が多く、自分も何度も登っているが、この縦走登山路はほとんど利用されていない。少し道は荒れていて難儀はあるが済んでみると楽しい尾根歩きだった。メンバーは爺さんばかりだったが皆健脚で、初めての山であったが互いに協力し助け合いできたことによりこの山行は無事に終えることができた。天候も良かった。仲間をはじめすべてに感謝!である。

確認 (リーダー)	岩
H26/4/09	崎
作成 (報告者)	岩
H26/4/09	崎